

令和2年度(2020年度)

管理事業名	まちづくり計画事業				総合計画の体系	大綱 6 都市形成 政策 1 みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり 施策 1 土地利用誘導と良好な景観形成
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項) 5	都市計画費	(目) 1 都市計画総務費
部局名	都市計画部	予算執行所属	都市計画室・計画調整室			
予算大事業名 一般事務事業 まちづくり計画事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)土木費(項)都市計画費(目)都市計画施設整備費積立金 まちづくり計画事業					
事業の目的と概要 【目的】都市計画法、景観法・吹田市景観まちづくり条例、屋外広告物法・吹田市屋外広告物条例、千里ニュータウン再生指針等に基づき、市民、事業者、専門家等及び行政の相互の協働により地域特性を生かしたまちづくりを推進します。 【概要】審議会の運営、法令等に基づく助言や指導、地域課題解決のための計画策定等の協働のまちづくり、また、都市計画施設整備のための基金の管理等必要な事業を行います。						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標の定義
アドバイザー派遣回数 (まちづくり・景観アドバイザー)	回	15	9	0	都市計画まちづくりアドバイザー及び景観アドバイザーの合計派遣回数
都市計画審議会に諮問した地区整備計画・景観重点地区の地区数	地区	9・1	5・2	4・5	地区整備計画の策定地区数・景観重点地区の指定地区数
景観の事前協議等受付件数	件	255	260	292	吹田市景観まちづくり条例に基づく事前協議等受付件数
屋外広告物許可申請書の受付件数	件	—	—	374	吹田市屋外広告物条例に基づく許可申請書の受付件数
千里ニュータウンのまちづくり指針チェックリスト指導件数	件	13	8	7	これまで育まれてきた千里ニュータウンのみどり豊かでゆとりある良好な住環境の発展継承
成果の説明	大規模開発に伴う開発事業者との協議等を通じて、地区(整備)計画や景観重点地区の指定についても協議を行い、都市計画審議会への諮問を経て指定し、地域特性を生かしたまちづくりを推進しました。 吹田市景観まちづくり条例に基づく事前協議の手続きにおいて、必要に応じて専門的立場の「景観アドバイザー」による会議での助言を踏まえ開発事業者に対する指導・誘導を行いました。また、令和2年度より、屋外広告物の許可申請手続きの中で、吹田市屋外広告物条例に基づく規制・誘導を行いました。 千里ニュータウン地域における開発事業等については、「千里ニュータウンのまちづくり指針」に基づき周辺環境と調和した土地利用へと誘導を図りました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書 (単位:千円)

勘定科目	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	29	31	3,628	3,597
経常収入				
国庫支出金(経常費用充当)	4,700	7,600	-	△7,600
府支出金(経常費用充当)	440	550	826	276
財産収入	55	31	23	△8
寄附金	1,050	1,050	1,000	△50
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	74	271,738	271,665
経常収入 小計(a)	6,274	9,335	277,215	267,880
給与関係費	221,210	261,102	274,433	13,331
物件費	49,719	55,207	23,492	△31,715
維持補修費	185	112	1,121	1,009
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	1,971	1,810	1,907	97
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	23	171	5,125	4,954
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	19,135	23,122	23,993	870
退職手当引当金繰入額	16,490	44,158	19,064	△25,094
支払利息	0	-	-	-
その他	-	-	4,644	4,644
経常費用 小計(b)	308,732	385,682	353,778	△31,904
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△302,459	△376,347	△76,563	299,784
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	1,224,621	1,224,621
特別収入 小計(d)	-	-	1,224,621	1,224,621
特別支出				
固定資産除売却損	-	-	0	0
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	0	0
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	1,224,621	1,224,621
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△302,459	△376,347	1,148,059	1,524,406
一般財源充当額	306,676	2,049,600	1,489,145	△560,456
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	4,217	1,673,253	2,637,203	963,950

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
使用料及び手数料	3,628千円(+3,597千円)の主な増は屋外広告物許可申請手数料(新規)による増 3,601千円
経常収入その他	271,738千円(+271,665千円)の主な増は過年度分委託料(物件費)勘定科目誤りの修正による増 23,220千円 近隣センターオープンスペース等維持管理負担金による増 246,068千円
物件費	23,492千円(△31,715千円)の主な減は委託料景観まちづくり推進事業 △4,006千円 都市計画推進事業 △2,705千円 千里ニュータウンまちづくり事業 △14,434千円 都市機能検討事業 △8,690千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	6,274	9,335	253,995	244,660
行政サービス活動支出	311,876	357,714	345,374	△12,340
行政サービス活動収支差額	△305,602	△348,379	△91,379	257,000
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	1,050	1,701,050	1,397,285	△303,765
投資活動収支差額	△1,050	△1,701,050	△1,397,285	303,765
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	24	171	481	310
財務活動収支差額	△24	△171	△481	△310
収支差額 合計	△306,676	△2,049,600	△1,489,145	560,456
一般財源充当額	306,676	2,049,600	1,489,145	△560,456
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入)
近隣センターオープンスペース等維持管理負担金 246,068千円(+244,660千円)	(投資活動支出)
都市計画施設整備基金への積立て 1,397,285千円(△303,765千円)	

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成30年度	371,030 人	832 円	市民1人あたり、939円のコストがかかっています。 令和3年3月31日現在の吹田市の人口で算出しています。
	令和元年度	373,978 人	1,031 円	
	令和2年度	376,944 人	939 円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	23,293	24,525	1,232
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	23,122	23,993	870
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	171	532	361
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	144,346	1,372,210	1,227,864	固定負債	218,572	219,217	646
土地	144,175	1,368,796	1,224,621	地方債	-	-	-
建物・工作物	-	0	0	長期借入金	-	-	-
リース資産	171	3,413	3,243	退職手当引当金	218,572	216,336	△2,236
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	2,881	2,881
無形固定資産	-	13,932	13,932	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	241,865	243,742	1,877
土地	-	-	-	純資産	5,340,938	7,868,141	2,527,203
建物・工作物	-	-	-	重要物品	-	0	△0
建設仮勘定	-	-	-	図書館資料	-	-	-
重要物品	0	0	△0	投資その他の資産	5,438,457	6,725,742	1,287,285
図書館資料	-	-	-	出資金	77,000	77,000	-
投資その他の資産	5,438,457	6,725,742	1,287,285	長期貸付金	-	-	-
基金	5,361,457	6,648,742	1,287,285	徴収不能引当金	-	-	-
出資金	77,000	77,000	-	その他債権	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	資産の部合計	5,582,803	8,111,883	2,529,081
基金	5,361,457	6,648,742	1,287,285	負債及び純資産の部合計	5,582,803	8,111,883	2,529,081
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

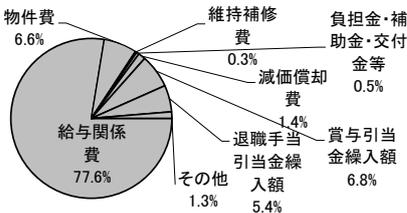
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	合計(千円)
事業従事人数	36.47人	729日	63日	317,489
給与関係費等	310,125千円	7,011千円	353千円	
内、時間外勤務手当	6,471千円			

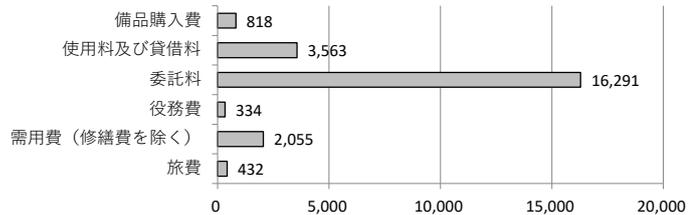
貸借対照表の主な増減理由(特微的な事項)

勘定科目	増減理由
有形固定資産(土地)	近隣センターオープンスペース等の譲渡(令和2年4月1日)による増
無形固定資産	屋外広告物管理システムソフトウェアの取得(平成31年3月19日)による増
基金	110,000千円を繰入れ、決算調整時点の剰余金見込額等1,397,285千円を積立てました。(+1,287,285千円)

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			差 B-A
		平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	
受益者負担比率		0.0	0.0	1.0	1.0
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		98.0	99.5	85.4	△14.1

▽都市計画施設整備基金残高の推移

年度	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差(B-A)
平成30年度末	3,730,407	5,361,457	6,648,742
			1,287,285

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、給与関係費が274,433千円で77.6%占めています。物件費は23,492千円で6.6%を占めており、そのうち委託料が16,291千円と大半を占めています。主な委託内容は、都市計画推進事業の用途地域等一斉見直し検討業務2,881千円、千里ニュータウンまちづくり事業の北千里駅前地区再開発事業に係る環境影響評価業務12,452千円で、地域特性を生かしたまちづくりに向けて企画、立案に活用しました。このほか、佐井寺西土地区画整理事業など、今後の都市計画事業の財源として活用するため、決算調整時点の剰余金見込額等1,397,285千円を都市計画施設整備基金に積立てました。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

本事業内容の多くは、職員の力により、地域特性を生かしたまちづくりに向けた企画・立案や市民主体のまちづくり活動への支援・啓発、開発事業者との協議・調整を行うものです。業務内容が多岐にわたっており、市民・事業者・専門家等との協働によるまちづくりを進めるうえで、職員の専門的知識や技術力の向上、将来的な業務の伝承が必要であり、あわせて庁内関係部局間のさらなる連携が必要です。